資料２－１

○概ね5年で実施する取組（総括）

具体的な取組の柱 / 事項 / 具体的取組	課題の対応	目標時期	実施する機関																																		
			市町（茨城県）							市町（千葉県）														水防事務組合				県			水資源機構			気象庁	東地整	地域住民
			龍ケ崎市	取手市	潮来市	稲敷市	神栖市	河内町	利根町	銚子市	成田市	佐倉市	柏市	八千代市	我孫子市	四街道市	印西市	白井市	香取市	酒々井町	栄町	神崎町	東庄町	利根川水系県南水防事務組合	稲敷地方広域市町村圏事務組合	印旛利根川水防事務組合	千葉県長沼水防予防組合	茨城県防災・危機管理課	茨城県河川課	千葉県	利根川下流総合管理所	千葉用水総合管理所	霞ヶ浦用水管理所	水戸地方気象台・銚子地方気象台	利根川下流河川事務所	
■ソフト対策の主な取り組み																																					
（1）逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み																																					
・沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に基準の見直しについて検討する。 ・沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区間を設定、また、必要に応じて避難の発令基準を修正	1－1	H28年度から順次実施	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	○	◆	○	○	○					◆	－	○					◆	
・沿川市町：ロールプレイ等による検討を行いながらタイムラインの見直しを行う。 ・沿川市町以外：避難勧告に着目したタイムラインの作成	1－2	H28年度から順次実施	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	◆	◆	◆	○	◆	○	○	○					◆	－	○				◆	◆	
・広域避難計画の検討、策定や避難経路に関する検討、防災訓練などの機会を通じ避難場所の住民への周知を図る。	1－3 1－4 1－5	H28年度から順次実施	◆	●	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆					◆	－	○					○	活用
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	1－6	H29年度																																	◆	
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さサポート）	1－7	H29年度から順次実施																															◆			
・想定最大外力を反映した洪水HMの策定・周知	1－8	H29年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					◆	－	○					◆	活用
・首長も参加したロールプレイング等の実戦的な避難訓練の実施	1－9	H28年度から順次実施	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	○	○	○	○					◆	－	○	－	－	－	－	○	参加
・洪水情報のプッシュ型配信の実施	1－10	H29年度から順次実施																																	◆	
・スマホ等IT機器の活用を検討、避難訓練等の実施	1－11	H28年度から順次実施	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					◆	－	－	－	◆	－	－	◆	参加
・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報の推進	1－12	H29年度から順次実施	◆	◆	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		◆	－	◆				－	◆	活用
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	1－13	H28年度から順次実施	●	○	○	○	○	○	○	●	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	●	○	○	○	○					◆	－	◆				◆	◆	活用
・水防災に関する説明会の開催	1－14	H28年度から順次実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	－	◆	－	◆	－	－	－	◆	◆	参加
・小中学校における水災害教育の実施	1－15	H28年度から順次実施	◆	◆	○	◆	○	●	○	◆	●	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					◆	－	◆				◆	◆	参加
・教員を対象とした講習会の実施	1－16	H29年度から順次実施	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					◆	－	◆				◆	◆	
・避難誘導体制の充実	1－18 1－19 1－20	H29年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆	●	○	○	○	○	○	○	○					◆	－	◆					－	活用
・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとHMの検討、整備や表示板等の整備推進	1－21	H32年度	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆					◆	－	◆					◆	活用
・要配慮者施設における避難計画の策定および訓練の実施促進、訓練の必要性の啓発	1－22	H32年度	◆	○	◆	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	○	○	◆	○	◆	○	○	○	◆	◆					◆	－	◆					○	活用

○：未実施（未着手）、●：完了（取組が終了）、◆：継続（取組に着手）、－：対象外

資料２－１

○概ね5年で実施する取組（総括）

具体的な取組の柱 / 事項 / 具体的取組	課題の対応	目標時期	実施する機関																																
			市町（茨城県）							市町（千葉県）														水防事務組合				県			水資源機構			気象庁	関東地整	地域住民
			龍ケ崎市	取手市	潮来市	稲敷市	神栖市	河内町	利根町	銚子市	成田市	佐倉市	柏市	八千代市	我孫子市	四街道市	印西市	白井市	香取市	酒々井町	栄町	神崎町	東庄町	利根川水系県南水防事務組合	稲敷地方広域市町村圏事務組合	印旛利根川水防事務組合	千葉県長沼水防予防組合	茨城県防災・危機管理課	茨城県河川課	千葉県	利根川下流総合管理所	千葉用水総合管理所	霞ヶ浦用水管理所	水戸地方気象台・銚子地方気象台	利根川下流河川事務所	
(2)洪水氾濫による被害の軽減，避難時間の確保のための水防活動の取り組み																																			
・水防に関する広報の推進	2－1	引き続き実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	－	◆	◆				◆	◆	参加
・水防（防災）訓練の実施	2－2	引き続き実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	－	◆	◆				◆	◆	参加
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	2－3	引き続き実施	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	－	◆	◆	－	◆	◆				－	◆	参加
・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進	2－4	H29年度から順次実施	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	◆	◆	◆	－	◆	◆					◆	参加
・広域的な水防支援体制を推進	2－5	H32年度	◆	◆	◆	○	○	○	◆	－	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	－	◆	◆				◆	○	
・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る	2－6	H28年度から順次実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	－	◆	◆					◆	
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	2－7	引き続き実施	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	—	－	◆	◆	－	－	○					－	
・沿川市町：毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ・沿川市町外：水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	2－8	H28年度から順次実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	－	◆	○					◆	参加
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	2－9	H28年度から順次実施	●	●	●	○	●	◆	●	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○	○	◆	○	◆	—	－	◆	◆	－	◆	◆					－	
・水害BCP策定に向けた検討	2－11	H32年度	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	—	－	○	－	－	－	－	◆	○	－	◆	●	
・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成	2－12	H32年度	◆	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	—	－	○	－	－	－	○	○	○	－	－	●	
・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	2－13	H32年度	○	◆	◆	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	○	－	○	－	○	－	○	○	－	－	○	－	○	－	－					○	参加
・自衛水防を説明会等により市民へ周知	2－14	H29年度から順次実施	◆	◆	◆	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	○	◆	○	○	○	○	－	－	○	－	◆	－	◆				◆	◆	参加
(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み																																			
・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	3－1 3－2 3－3	H32年度	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	－	○	－	－	－	○				◆	○	
・排水計画に基づく排水訓練の実施	3－4	H32年度	●	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	—	－	○	－	－	○	○					◆	
■ハード対策の主な取り組み																																			
(1)洪水を河川内で安全に流す対策、危機管理型ハード対策																																			
優先的に実施する堤防整備	4－1	H32年度																																◆	
優先的に実施する堤防天端の保護	4－1	H32年度																																◆	
(2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																																			
・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	4－1	H32年度																																◆	
・円滑かつ迅速な避難に資する施設（ハード）整備	1－17	H32年度	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆					◆	◆	－					◆	活用
・迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材の検討、配備や地域防災計画に基づく水防資機材等の配備、維持管理	2－10	引き続き実施	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	－	－	○	◆					◆	
・氾濫形態に応じた排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	2－15	H32年度	◆	○	○	○	○	◆	○	○	○	－	◆	－	－	○	◆	◆	◆	○	○	○	○					－	－	◆	○	○	－		◆	

○：未実施（未着手）、●：完了（取組が終了）、◆：継続（取組に着手）、－：対象外